横浜市阿久和小学校
Akuwa elementary school in Yokohama city

令和５年 10 月 31 日
校長　荒井　智津子

学校だより１１月号

学校教育目標　「みんなかがやけあくわっ子」
～自分らしく輝く子の育成をめざして～　夢の実現に向かって行動する子
あいさつから輪を広げる子　くふうして学び続ける子　わたしもあなたも命を大切にする子

「やさしく、ほっこりとした時間　人を笑顔にする力」

副校長　小西　隆一郎

朝と昼との寒暖の差が大きく、体調管理が難しい日が続いています。この寒暖の差が大きい方がよいこともあります。それは、「紅葉」です。８℃ぐらいの寒暖差がある日が続くことが美しい紅葉を見られる要素となるそうです。本校の木々も色づき始め、初冬に向けて秋が一層深まっていることを感じます。

さて、学校では、学校保健委員会、あくわ博、そして１２月の人権週間に向けて「心を豊かにする取組」を実践しています。その取組の一つとして、ふわふわ言葉（「よかったね」「だいじょうぶ」など相手の心が楽しくなったり元気になったりする言葉）を子どもたちから募集したところ、なんと「108」もの温かい言葉が集まりました。今後はビンゴゲーム等、集まった「ふわふわ言葉」を積極的に使っていく活動を子どもたちと一緒に考えています。

そんな活動を通して、ふと思い出した TVCM があります。

＋　－　×　÷

「＋」は、たすけあう　「－」は、ひきうける　「×」は、声をかける　「÷」は、わけあう

困っている友達がいれば助け合い、そんな場面では笑顔で引き受け、よく声をかけ合い、喜びも悲しみも分かち合う、思いやり算。この CM は最後に

「それは人を笑顔にする算数。『思いやり算』。ほら、やさしいでしょ。」

と結んでいます。小さな優しさが人に笑顔をあたえます。気配りや心配りが人の気持ちを通じさせます。そして、人に対する思いやりの心は、私たちが生きている限り学ぶべきもので、行動に移すべきことだと思います。「思いやり算」では、どのような計算をしてもプラスになることばかりです。人と人との間には、「人を笑顔にする算数」＝「人を笑顔にする力」が備わっていることを子どもたちの姿を見て日々感じています。先述した「心を豊かにする取組」を通して、子どもたちの気持ちをさらに温かく育んでいきたいと思います。